
令和8年度第1回 地元協議会

令和8年8月16日（日） 10:00

多摩ニュータウン環境組合

管理棟 2階 201会議室



地元協議会とは

【協議会の目的】

- ◆多摩ニュータウン環境組合の運営について周辺地域住民と意見交換及び連絡調整を行うこと。
- ◆ごみ処理施設等に関する意見交換、連絡調整等を通じて周辺地域住民と組合が相互に理解を深めることにより、地域環境の保全、住民の安全・安心の確保及びごみ処理施設の円滑な運営を図ること。

【住民委員の皆様をお願いしたいこと】

協議会での情報を地元の自治会、町内会、管理組合で報告・周知すること。



定例報告（第1部）

令和7年度の報告

1 多摩清掃工場の運営について

- | | |
|-----------------------|----------------------------------|
| (1) 主な事業の取り組み | (5) 能登半島地震より生じた災害
廃棄物の受入れについて |
| (2) ごみ搬入量の推移 | (6) 焼却炉運転日数 |
| (3) 多摩清掃工場へのごみ搬入量 | (7) 環境測定結果 |
| (4) 構成市間応援協定に基づく処理の状況 | |

2 リサイクルセンター運営状況について

3 その他

- (1) 第17回たまかんフェスタの開催について
- (2) 唐木田クリーンアップ作戦の実施予定について
- (3) 町田市処理支援ごみ搬入量の報告について



連絡調整（第2部）

- 1 多摩清掃工場施設老朽化対応の進捗について
- 2 東京都における廃棄物処理体制について
- 3 勉強会について



定例報告



1 多摩清掃工場の運営について

(1) 主な事業の取り組み

- 環境について
- 長期修繕計画に基づく維持管理について
- 焼却炉運転計画について
- 電力地産地消事業について
- たまかんニュース
- 学校・一般等の施設見学会の実施
- 地元協議会の実施状況
- 地域交流事業の実施
- 煙突登りにチャレンジ
- クリーンアップ作戦
- 唐木田クリーンアップ作戦2025



(1) 主な事業の取り組み

- 環境について
 - ・ ISO14001の適切な運用



☞ 外部審査員による定期審査を毎年実施しており、環境マネジメントシステムが有効に機能していることが認められました。

(1) 主な事業の取り組み

➤ 長期修繕計画に基づく維持管理について

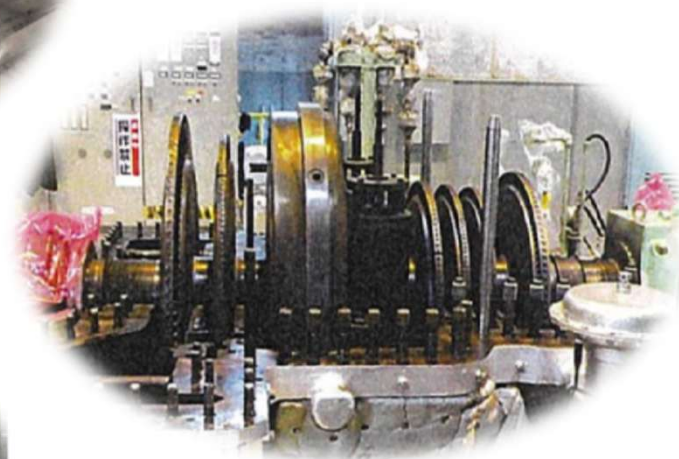
多摩清掃工場では施設老朽化への対応として計画的に維持補修工事を行っています。

令和7年度に行った主な工事としては、維持補修工事として耐火物の補修およびタービン開放点検等を行いました。

また、消防設備につきまして、更新工事を行いました。



耐火物の補修



タービン開放点検

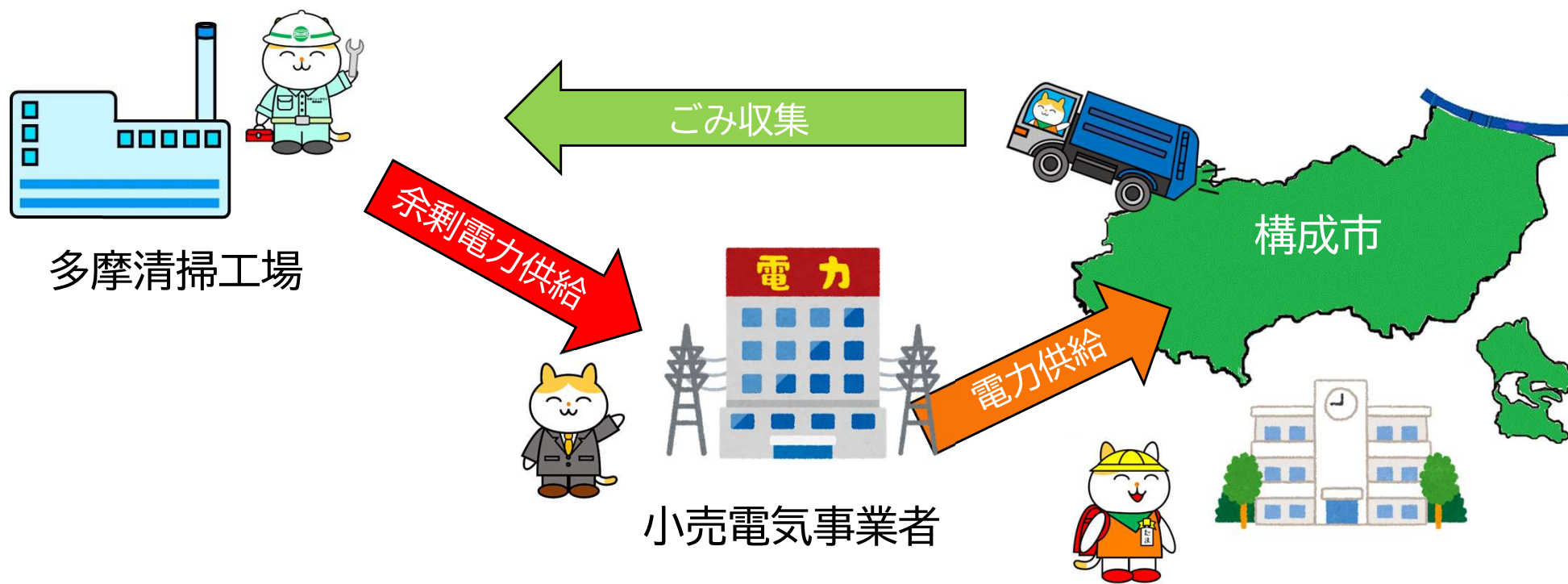


消防設備更新工事

(1) 主な事業の取り組み

➤ 電力地産地消事業について

構成市と連携し、多摩清掃工場で発電された二酸化炭素「0」の電気を小売電気事業者を介し、構成市内（八王子市・町田市・多摩市）の公共施設へ送っています。



(1) 主な事業の取り組み

➤ たまかんニュース

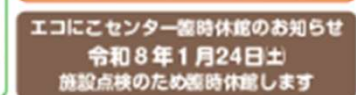
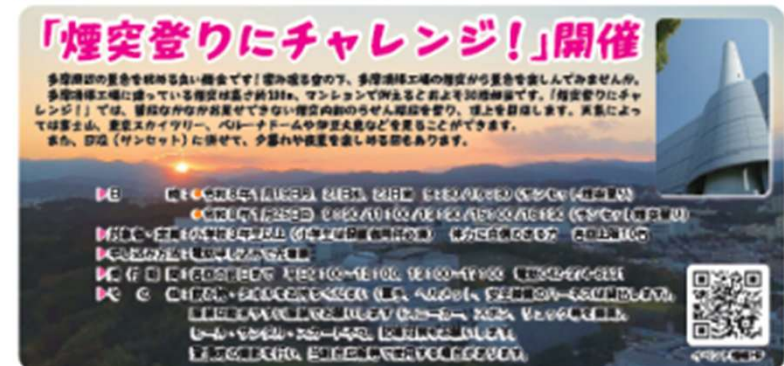
- ・ 全体版 年2回（新聞折込）
各回約52,400部発行
- ・ 地域版 年2回 （ポスティング）
令和7年9月 約3,500世帯
令和7年12月 約3,300世帯

➤ 学校・一般等の施設見学会の実施

- ・ 49団体 1,884人参加

➤ 地元協議会の実施状況

令和7年8月17日（日）
令和8年3月13日（金）
（施設見学会）



(1) 主な事業の取り組み

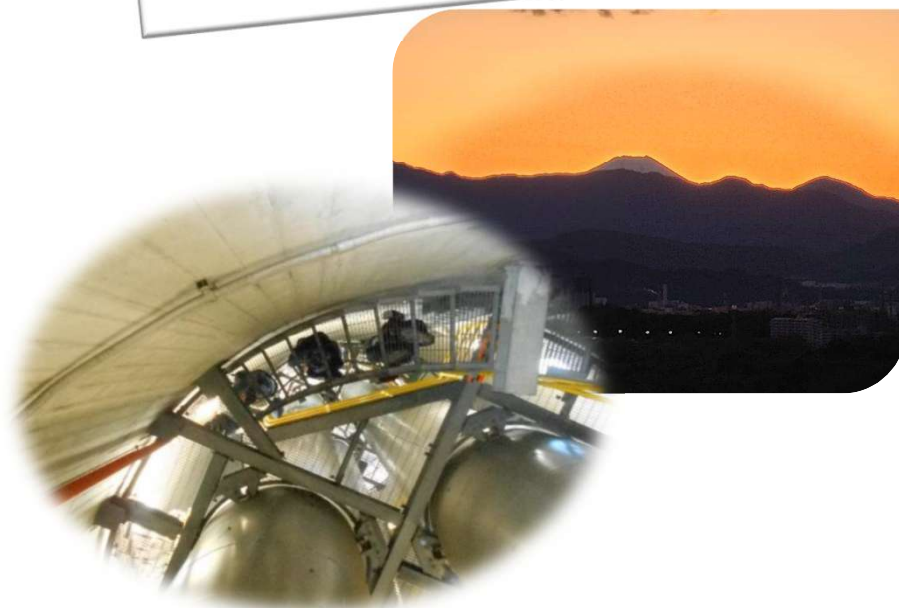
➤ 地域交流事業の実施

- ・ 令和7年10月19日（日）
『たまかんフェスタ』
（来場者 約2,280人）



➤ 煙突登りにチャレンジ

- ・ 令和8年1月19、20、21、
23、25日
（参加者 延べ105人）



(1) 主な事業の取り組み

➤ クリーンアップ作戦

組合職員及び工場運転管理受託者職員
による、工場周辺美化活動(12月を除く
毎月第3水曜日)

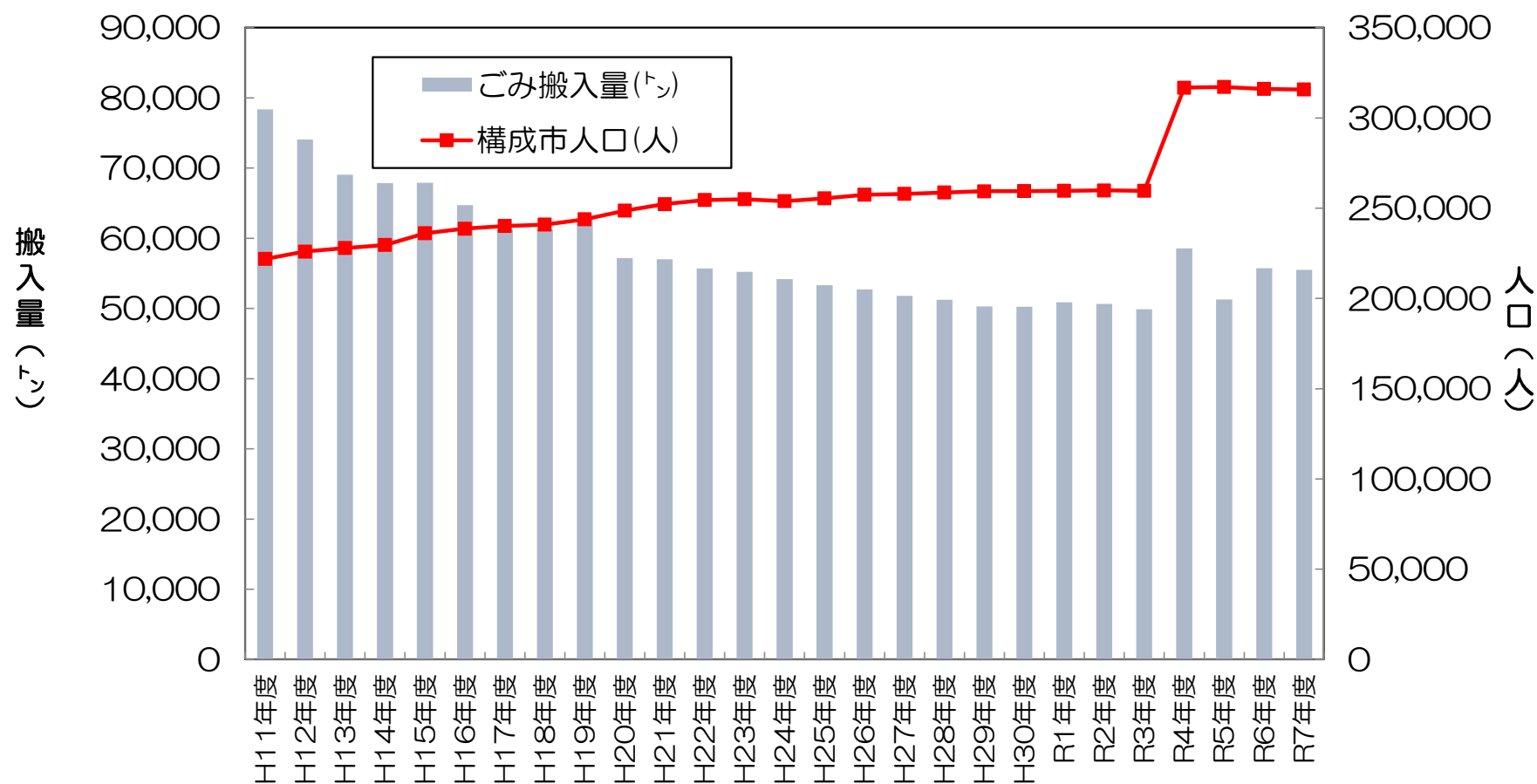
➤ 唐木田クリーンアップ作戦2025

令和7年12月19日(金)開催
102人の参加 62.10kgのごみを収集



(2) ごみ搬入量と人口の推移

(可燃ごみ＋不燃ごみ＋粗大ごみと人口の推移)



(3) 多摩清掃工場へのごみ搬入量

(単位：トン)

		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	合計
構成市	(処理区域内)	50,567.90	2,119.49	2,257.34	54,944.73
	(町田市支援分)	557.80			557.80
	(町田市応援分)	3,916.12			3,916.12
	能登半島地震の災害廃棄物	38.12			38.12
合 計		55,079.94	2,119.49	2,257.34	59,456.77



(4) 構成市間応援協定に基づく処理の状況

町田市からの「応援ごみ」受入れ状況(令和7年度分)

◇受入期間	令和7年4月1日から6月30日
ごみ種	家庭系可燃ごみ 377.87トン
受入理由	令和5年11月4日に町田市の清掃工場である町田市バイオエネルギーセンターのバイオガス化施設の火災によりごみ処理が出来なくなったため
◇受入期間	令和7年4月14日から9月5日まで
ごみ種	家庭系可燃ごみ 3538.25トン
受入理由	ボイラ不具合により一部焼却施設が停止しているため



(4) 構成市間応援協定に基づく処理の状況

町田市のと相互応援について（令和8年度分）

町田市⇒多摩清掃工場

- | | |
|-------|------------------------|
| ①受入期間 | 令和8年4月6日～6月3日 |
| ごみ種 | 家庭系可燃ごみ 968.17トン(確定量) |
| ②受入期間 | 令和8年7月1日から9月30日まで |
| ごみ種 | 家庭系可燃ごみ 約2,000トン(予定数量) |

多摩清掃工場⇒町田市

- | | |
|------|------------------------|
| 受入期間 | 令和9年1月頃 |
| ごみ種 | 家庭系可燃ごみ 約1,000トン(予定数量) |



(5) 能登半島地震地震における災害廃棄物の受入れについて

令和6年1月に発生した能登半島地震に伴う災害廃棄物について、生活環境の保全及び公衆衛生の確保を図り、被災地の早期復興を支援するため、広域でごみ処理を行う必要があることから石川県からの広域処理の要請に応じ、多摩清掃工場の運転に支障のない範囲で受入を行っていました。

災害廃棄物：可燃性廃棄物

受入れ量

令和6年度	2台	8トン
令和7年度	10台	38トン



(6) 焼却炉運転日数

	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度計画
1炉運転日数(日)	334	305	297
2炉運転日数(日)	0	8	0
全炉停止日数(日)	31	52	68



(7) 環境測定結果

排ガス調査 (ばい煙等)

年 度		令和7年度					
測定年月日		R7. 5. 9	R7. 7. 7	R7. 9. 5	R7. 11. 14	R7. 12. 25	R8. 3. 6
運転炉		2号炉	3号炉	2号炉	3号炉	3号炉	2号炉
ばいじん	濃 度 [g/m ³ _N]	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	規制基準値 [g/m ³ _N]	法規制値：0.08 自主規制運用値：0.02					
硫黄酸化物	濃 度 [ppm]	7	9	5	8	8	4
	排出量 [m ³ _N /h]	0.40	0.6	0.31	0.43	0.45	0.24
	排出基準値 [m ³ _N /h]	89.3	90.9	93.9	89.3	89.3	95.5
	自主規制運用値 [ppm]	自主規制運用値：20					
窒素酸化物	濃 度 [ppm]	37	42	42	37	29	38
	規制基準値 [ppm]	法規制値：250 自主規制運用値：56					
塩化水素	濃 度 [ppm]	14	23	16	23	15	19
	規制基準値 [ppm]	法規制値：430 自主規制運用値：25					
全水銀	規制基準値 [μg/m ³ _N]	9.6	14	13.0	10	11	9.1
		法規制値：50					



(7) 環境測定結果

排ガス調査（ダイオキシン類）

単位：ng-TEQ/m³_N

令和7年度					
測定炉	排出基準	R7.4.11	R7.7.4	R7.9.29	R7.12.24
2号炉	法規制値：1 自主規制運用値：0.01	0.00000056	休炉中	0.00012	休炉中
3号炉		休炉中	0.000044	休炉中	0.00013

大気中のダイオキシン類調査

単位：pg-TEQ/m³

年 度	調査名等		調査地点				環境基準
			からきだの道	中坂公園	小山田緑地	別所公園	
令和7年度	焼却炉稼動時	夏期調査 (7/3~10)	0.0073	0.017	0.0067	0.0076	0.6
		冬期調査 (2/13~20)	0.011	0.011	0.0089	0.0087	
	年平均値（稼動時）		0.0092	0.014	0.0078	0.0082	
	焼却炉停止時調査 (1/9~16)		0.0081	0.015	0.011	0.0081	



2 リサイクルセンター運営状況について

➤ 開館日数・来館者数

307日 24,454人

➤ 主催講座、イベント開催実績

129回（主催講座79回、イベント等50回）

➤ リサイクル品販売実績

家具・木材・自転車部品等 7,375点

➤ 不用食器のリサイクル

持込者 509件

回収量 リユース分（講座等内部使用で約20kg）

リサイクル分搬出量 3,823kg

（令和7年度末）



3 その他

(1) 第17回たまかんフェスタの開催について

例年行っている、地域交流事業「たまかんフェスタ」を今年度も開催します

開催日：令和8年10月18日（日）

開催時間：10時～15時

開催場所：多摩清掃工場



(2) 唐木田クリーンアップ作戦の実施予定について

例年、年末に行っている唐木田地域の周辺清掃
「唐木田クリーンアップ作戦」を今年度も開催する予定です。

開 催 日：令和8年12月18日（金）予定

集合時間：9時30分

申込案内：たまかんニュース（地域版）



(3) 町田市処理支援ごみ搬入量の報告について

令和4年度から町田市の「可燃ごみ処理支援要請」に基づき、
家庭系可燃ごみの搬入を受入れました。

支援期間：令和4年4月～令和8年3月（4年間）

支援量　：年間最大10,000トン

令和7年度実績：　557.8トン

累計：11,551.5トン



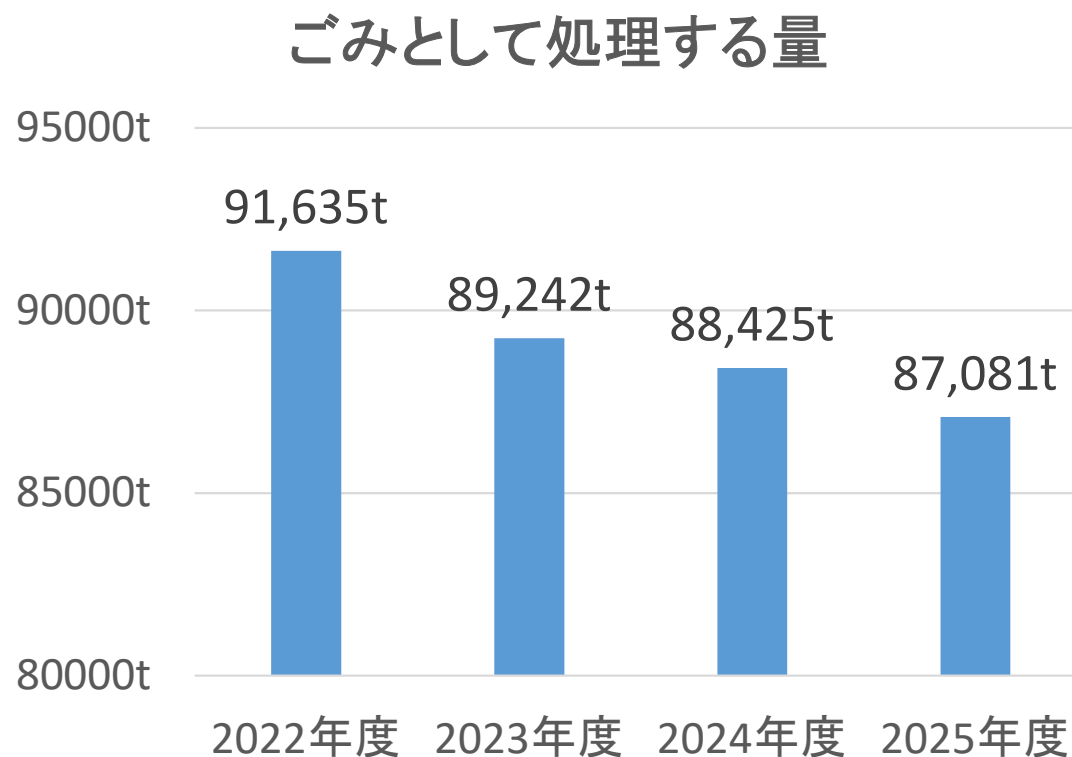
町田市の支援依頼ごみ搬入量等の報告

説明内容

- 1 .ごみ量の状況
- 2 .支援依頼ごみの状況
- 3 .バイオエネルギーセンターでの火災等による応援依頼ごみの状況
- 4 .総括及び謝意

1.ごみ量の状況

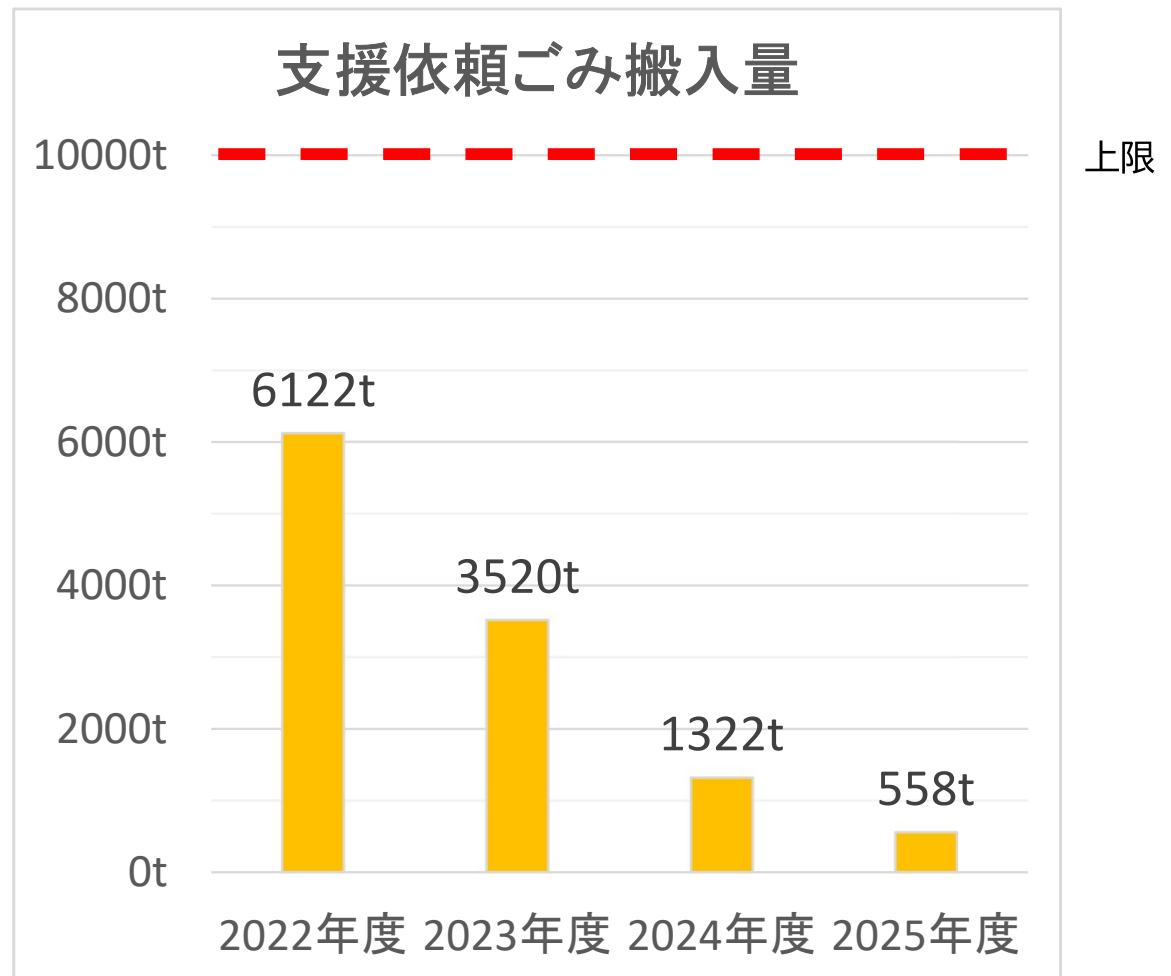
町田市内のごみとして処理する量（可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ・有害ごみ量の合計）は、年々減少傾向にあり、2025年度は、87,081トンとなりました。



2.支援依頼ごみの状況

町田市の清掃工場である町田市バイオエネルギーセンターで処理しることができないごみについて、年間10,000トンを上限に、多摩ニュータウン多摩清掃工場へ処理をお願いしておりました。

この支援依頼ごみの2025年度搬入量の実績は、558トンとなり、4年間合計で11,552トン受け入れていただきました。



3.町田市バイオエネルギーセンターでの火災等による応援ごみの状況

事由	年度	応援ごみ量(トン)
施設内火災	2021年度	491
	2022年度	131
	2023年度	973
	2024年度	3,613
	2025年度	378
焼却炉ボイラ不具合	2025年度	3,538
合計		9,124



選別ごみ搬送コンベアの被災状況

※施設内火災：リチウムイオン電池が原因とみられ、2022年2月21日と6月11日に不燃粗大ごみ施設内、2023年11月4日にバイオガス化施設内（地下階）で発生。

※焼却炉ボイラの不具合：2025年3月と5月に発生し同年4月から9月に応援。

応援ごみは2021年度から2025年度までで合計9,124トンのごみを受け入れていただきました。

4.総括及び謝意

「支援依頼ごみ」「応援ごみ」の受け入れは、多摩ニュータウン環境組合地元協議会の皆様をはじめ、周辺住民の方々のご理解とご協力があり実施できたものです。

予期せぬトラブルの際も含め、長期間にわたり町田市のごみ処理を支えていただいたことに、心より深く感謝申し上げます。

質 疑 応 答

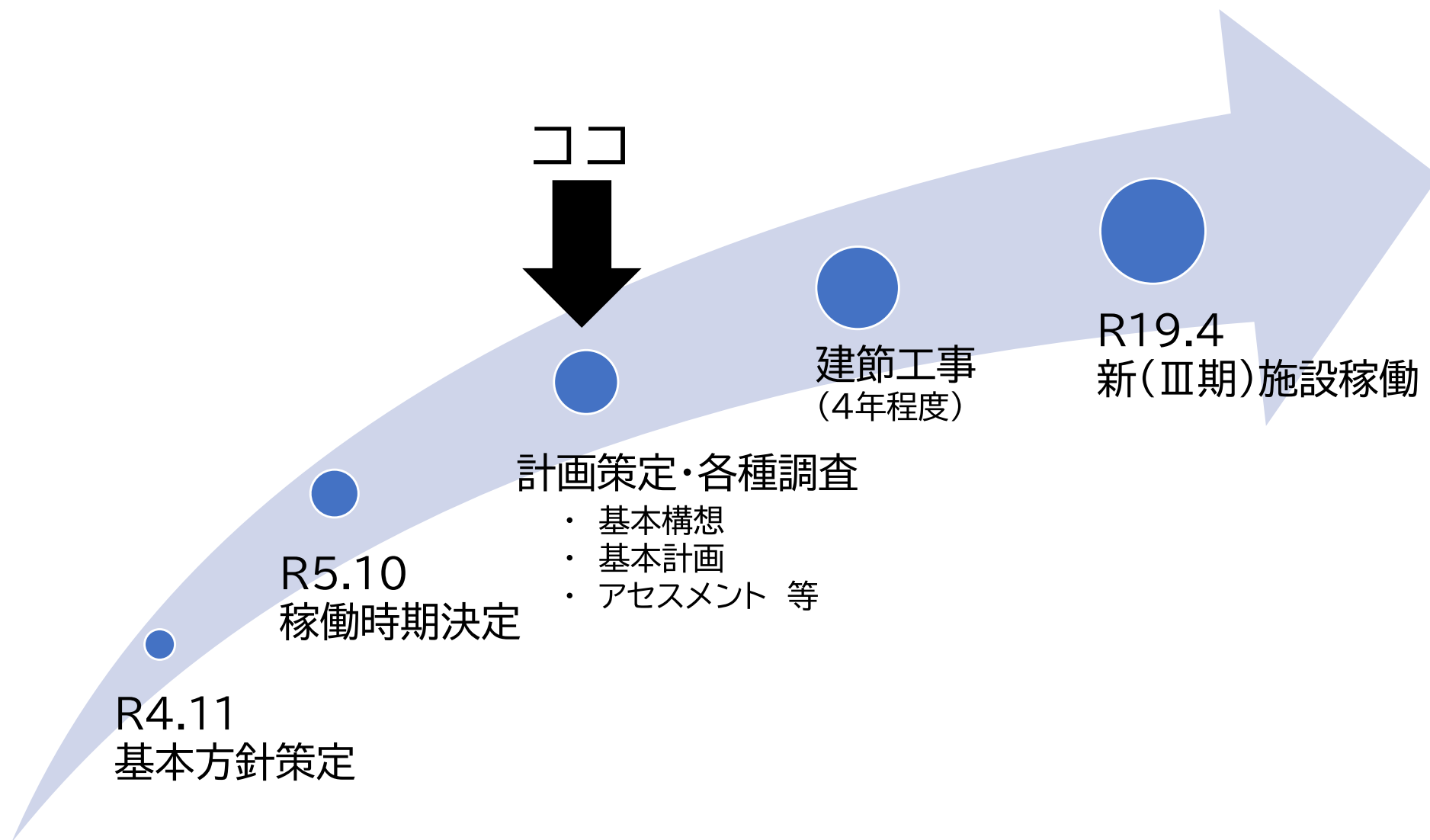


連絡調整

- 1 多摩清掃工場 施設老朽化対応の進捗について
- 2 東京都における廃棄物処理体制について
- 3 勉強会について



1 多摩清掃工場施設老朽化対応の進捗について



1 多摩清掃工場施設老朽化対応の進捗について

○ 多摩清掃工場施設老朽化対応の基本方針

を令和4年11月1日に策定

《令和5年3月19日(日)開催の地元協議会で報告》

主な内容

- ・ 新しく建設する焼却施設の稼働時期
令和15(2033)年度から令和18(2036)年度の間とする
⇒ 具体的な時期は令和6(2024)年3月までに決定
- ・ 新施設の処理能力及び機能等
処理能力について
処理区域における将来のごみ発生量 +
災害時等に発生が想定される災害廃棄物を処理できる能力
機能について
最新技術による環境負荷の低減／廃棄物エネルギーの利活用
災害に強い施設／地域に親しまれ、環境・エネルギー等について学べる拠点



1 多摩清掃工場施設老朽化対応の進捗について

○ 新（Ⅲ期）焼却施設の稼働時期

令和18（2036）年度までに建設し、
令和19（2037）年度当初から本稼働

とすることを令和5年10月25日に決定

《令和6年8月17日(土)開催の地元協議会で報告》

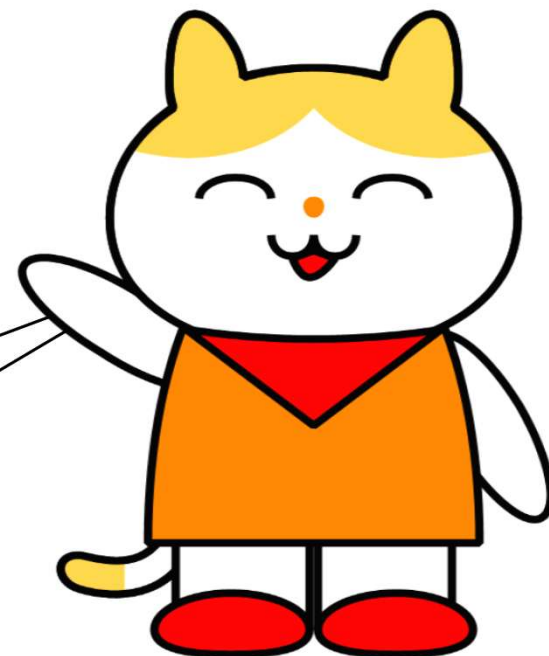


1 多摩清掃工場施設老朽化対応の進捗について

令和7年度の取組み

- 新(Ⅲ期)施設建設に向けたスケジュールを見直し、令和10年から循環型社会形成推進地域計画の策定を開始することに決定
- 新(Ⅲ期)施設建設に向けた計画等の策定準備

計画中にやり！



1 多摩清掃工場施設老朽化対応の進捗について

令和8年度の取組み

- 新(Ⅲ期)施設建設の詳細スケジュールを策定
- 昨今の資材費高騰や人材不足等による人件費の上昇を踏まえ、新(Ⅲ期)施設の建設費の再試算
- リニューアル工事等を含めた、建設費抑制に向けた方策の検討



2 東京都における廃棄物処理体制について

《重要テーマ》清掃工場の広域化・集約化

○ 建設費の抑制

大規模施設に集約することで、複数建設に比べて設備投資を効率化できる

○ 発電効率の向上

大型炉の方が高効率発電設備を導入しやすく、売電収入の増加も期待できる

○ 環境性能の向上

最新の排ガス処理設備や高度な焼却技術を導入しやすく、環境負荷を低減できる

○ 人材の確保が容易

施設が集約されることで、専門技術者を安定的に配置しやすくなる



2 東京都における廃棄物処理体制について

○ 東京都による協議会の設置

令和6年3月の環境省通知を受け、東京都は区市町村と連携して、令和9年度までに「長期広域化・集約化計画(2050年度まで)」を策定するため、協議会を設置予定

○ グループワークの発足

東京都市町村清掃協議会下部の関連組織として「次期清掃施設整備に向けた効率的な整備・運営方法に係るグループワーク」が発足



2 東京都における廃棄物処理体制について

《参考》 広域化・集約化事例

○多摩地域では…

- ・令和7年10月1日

東村山市が柳泉園組合(清瀬市・東久留米市・西東京市)へ加入するため、協議会が設置

- ・令和8年5月11日(月)から令和8年5月15日(金)

東村山市の燃やせるごみを試験的に柳泉園組合に搬入し処理を行い、排ガスや周辺道路の交通への影響を調査



柳泉園
クリーンポート
平成12年11月稼働
105t×3炉



東村山市
ごみ焼却処理施設
昭和56年9月稼働
75t×2炉

3 勉強会について

目 的

最新のごみ処理施設における、環境性能や防災機能についての知見を深め、多様化する清掃工場の役割(廃棄物エネルギーの利活用、コミュニティー創設の場、環境・エネルギー等について学べる拠点等)を委員の皆さまと共有し、次の施設に必要な(地域を支える)機能を判断する材料とするため。

8月の協議会

- ・前年度の工場等運営の報告
- ・多摩清掃工場の見学
- ・新(Ⅲ期)施設建設の進捗報告

このサイクルを回すことで、多摩清掃工場の現状を知ってもらい、次の施設に必要な機能について理解を深める。

3月の勉強会

協議会を構成する自治会等の住民

- ・最新のごみ処理施設の機能紹介



3 勉強会について

令和8年度

オープンハウス形式※を予定（ 来年1月頃に、ご案内等実施 ）

⇒ 協議会委員以外の方も参加できます。

※ 決められた時間内に自由に出入りし、説明資料の閲覧や担当者への質問を随時行える
公開型の説明方式

- ① 最新施設の事例紹介
- ② 環境性能
- ③ 有効な地元還元方法
防災拠点としての役割
教育や地域文化への貢献/スペースの開放/イベント実施
- ④ ごみ処理区域の広域化・施設の集約化の動き
- ⑤ 既存の建物を活かしたりリニューアル工事
- ⑥ その他



質 疑 応 答



お疲れさまでした

